

# 円弧の階段を作成する方法

円弧の階段を作成してみましょう。



## 円弧の階段を作成する方法

階段で作成する方法と床で作成する方法の2通りあります。作業しやすい方を選んで作成してください。

レイヤは「ユニット」

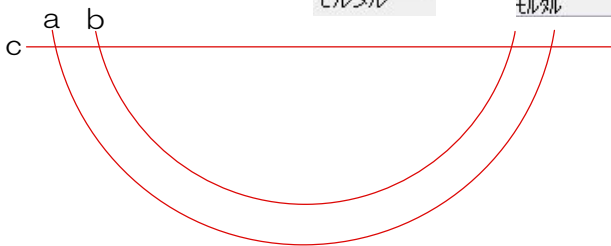


階段

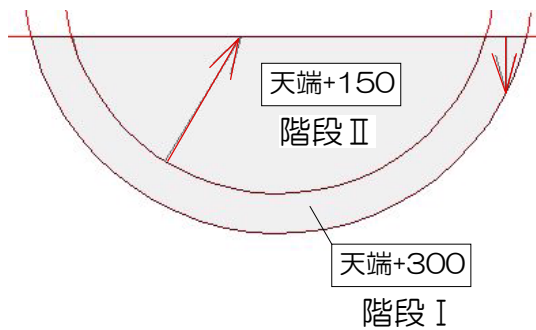


Or

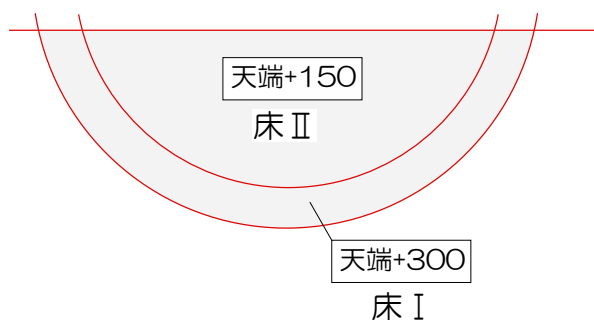
床



【階段の場合】



【床の場合】



### ① 補助線を配置

①-1：補助線をa～cまで配置して階段の形を作成します。

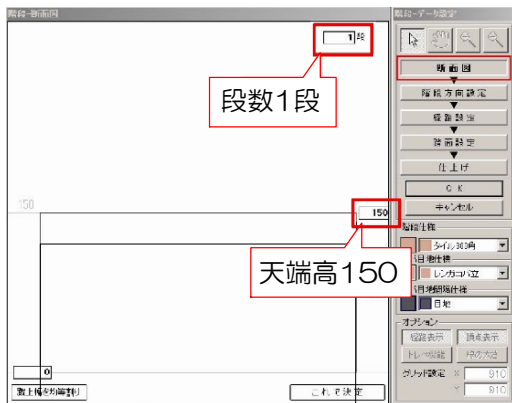
### ② 階段・床ユニットを配置

②-1：IとIIをわけて階段ユニット又は床ユニットを配置します。  
※階段の場合、左の矢印の位置になるよう配置してください。



階段の場合：矢印の長さが300以下になる場合階段が作成できないため、矢印の向きに関係なく300以上になる方向で階段を配置します。

【階段の場合】



③ 3D編集

③-1：配置した階段をWクリックをして起動します。階段の高さを入力して段数を入力します。

※2段目は天端高300にして設定します。

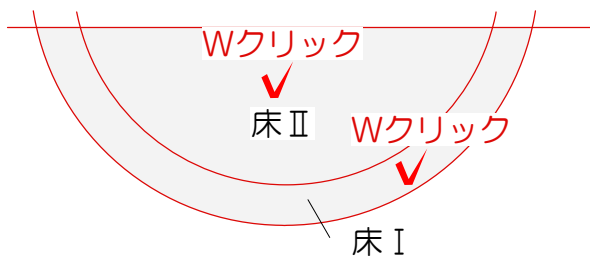


この続きの作業は



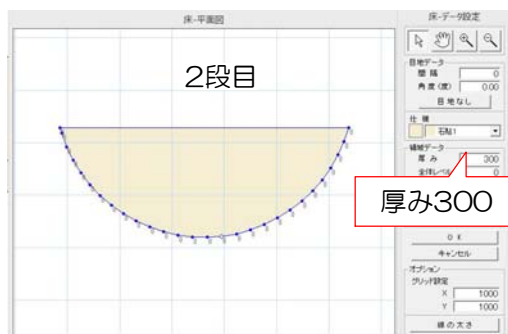
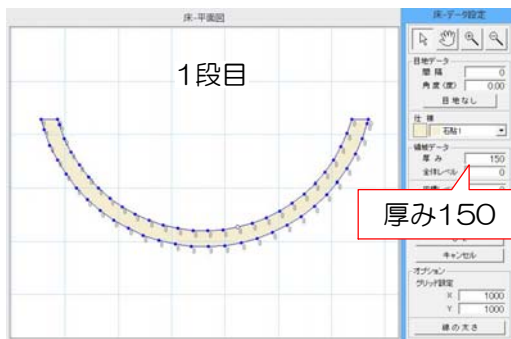
[階段]で検索

【床の場合】



③-1：配置した床をWクリックして床デザイナーを起動します。

床の高さ1段目・2段目それぞれに入力しOKを選択します。

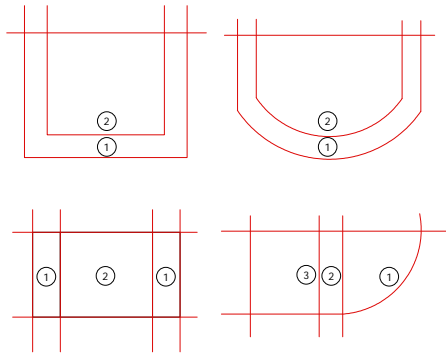




## 【床ユニットと階段ユニットで作成する階段の違い】

### 【床ユニットの場合】

タイル階段・石貼り階段・モルタル階段等



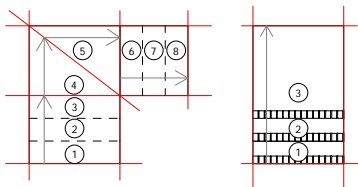
左図のような階段は、補助線にて分けて作成し、1段ずつ階段の高さを厚みに入力すると階段を作成することが出来ます。

※必ず1段目の下端を確認してから高さを入力するようにしてください。

### 【階段ユニットの場合】

レンガコバ付階段・段数の多い階段

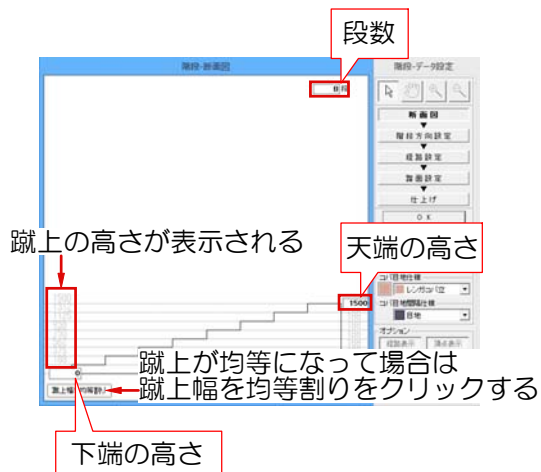
④・⑤は床でも可



床と同様、補助線にて左の図のように階段を配置し、階段の高さを入力します。矢印の方向を間違えないように配置してください。

蹴上にレンガやモルタル等を作成される場合は、階段で作成した方が簡単です。また段数の多い階段は高さを入力する作業が大変なので、階段で作成する方が簡単です。

※必ず1段目の下端を確認してから高さを入力するようにしてください。



階段に関しては、下端と天端を入れ段数を入力すると自動的に蹴上の高さを計算してくれます。左図参照